

h a n a k a z e

花

風

[ビューティ花壇]

第16期年次報告書

2011.7.1~2012.6.30

証券コード：3041

株主の皆様へ

TO OUR SHAREHOLDERS



代表取締役社長 三島美佐夫

グループ理念

ビューティ花壇グループは公平で誠実な事業活動を通じて、より多くのお客様に最高の商品・サービス・環境を適切な価格で提供し、お客様の豊かな暮らしを支援できる、総合生活提案企業になることを目指します。

グループ経営理念

我々は、公正、透明かつ自由な競争を通じて利益を追求するとともに、広く社会にとって信頼され価値ある存在であり続けるため、次の原則に基づき行動することを誓います。

お客様のために

お客様の満足と信頼を得られるよう、優れた品質の商品・サービスを魅力的で合理的な価格で、便利かつお求めになりやすい方法により提供します。

共に働く人たちのために

職場で働く全ての人たちそれぞれの多様性、人格、個性などの人権を尊重し、その能力を最大限発揮し、成長できるように、健康的で安全な、活力あふれる職場環境造りを目指します。

取引先のために

取引先との間に良好で公正な取引関係を築き、これを維持することにより、共に成長していくことを目指します。

社会のために

良き企業市民として、法令及び社会倫理を遵守するとともに、地域社会との積極的な関わりを通じて、広く社会貢献活動を行います。また、市民社会の秩序や安全に脅威を与えたり、健全な企業活動に悪影響を与えるような反社会的勢力とは、一切関係を持ちません。

株主の皆様におかれましては、平素から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

第16期「年次報告書」をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国の経済は、復興需要等を背景として個人消費や設備投資に持ち直しの動きが見られており、景気は緩やかに回復しつつあります。しかしながら、長引く欧州債務問題による世界的な景気の停滞感の広がりや、円高の継続など不透明な状況が続いております。

当社の事業を取り巻く環境として葬儀業界は、年間死亡者数が前年同様、高齢化社会を背景に増加傾向にあり、葬儀件数は増加傾向にあります。また、1件あたりの葬儀単価は、ご家族・ご親族・近い人だけで故人とのお別れを偲びたいというニーズの高まりによる葬儀の小型化等によって下落の傾向がみられましたが、平成23年7月から平成24年6月までにおいては前年同期比1.4%減とほぼ横ばいの傾向にあります。

このような状況の中、当社は、全社基本方針として新規顧客の積極的な開拓と既存顧客内での当社への発注シェアアップによる売上拡大、徹底的な経費削減を推進してまいりました。この結果、当連結会計年度の業績は、売上高は前年同期比7.6%増の44億36百万円、経常利益は前年同期比14.6%減の1億55百万円、当期



純利益は特別利益として負ののれん発生益53百万円を計上した結果、前年同期比1.5%減の1億23百万円となりました。

今後の展開につきましては、前期と同様、積極的な新規顧客の獲得、既存顧客の掘り起こしによる売上高、粗利益の拡大を図るとともに、徹底的な経費削減、作業工程の見直しによる販売管理費削減により、収益改善・向上を継続していきます。生花祭壇事業につきましては、関東地区での売上拡大のために加工物流センターを本格的に稼働させ、生産性と品質の向上を図るとともに積極的な顧客開拓を行う予定です。また、生花卸売事業につきましては積極的な営業展開と生花調達力のアップを図り、更なる売上拡大と収益改善を目指してまいります。なお、ブライダル装花事業につきましては、九州地区での生産性の向上と関東地区での新規顧客の獲得に取り組んでいく予定です。

利益配分につきましては、できる限り安定した配当の継続的な実行による株主の皆様に対する利益還元と内部留保の確保による将来の事業展開や経営環境の急激な変化への対応ができる経営基盤の強化を基本としております。その趣旨に基づき株主の皆様に対する利益還元として、原則として連結当期純利益の30%相当の配当性向を目安に日頃のご支援にお応えしたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後ともご指導・ご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

連結売上高 4,436百万円

生花祭壇事業

主に葬儀関連会社に対し、葬儀における主要商品である生花祭壇や供花等の企画提案・制作から設営までを含めて提供しています。「感動していただける花飾り」を念頭に「安心と信頼」をモットーとし、技術に心をこめて商品のご提案をしております。

■ 生花祭壇設営

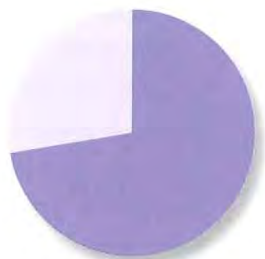
30年以上の伝統の中で培った技術力を駆使して、生前故人の好まれた生花を使用した花飾り、故人の人柄を偲ばせるデザインなど、喪家様のご要望に応じた花飾りの提案に努めています。また当社流通統括部の豊富な仕入ネットワークを活かし、高品質かつ適正な価格で生花祭壇を提案できるシステムを確立しています。

■ イベント装花

生花祭壇の企画提案・制作から培われた高い技術力と、企画力を活かし、イベント会場の装花、制作を手掛けています。

■ 社葬・大型葬などの生花祭壇企画制作・設営

社葬・大型葬のご要望に応じて、生花祭壇企画・デザインのお打ち合わせ、生花の調達、作成、設置、撤収まで行うプランや、技術者が現地にて指導するプランなどを設けております。また、デザインイメージを独自のコンピュータグラフィックにて作成し、全体の雰囲気をご理解いただけるサービスもご用意しております。



72.2%
3,205百万円



生花卸売事業

国内外の生産者・卸売市場・仲卸業者などのあらゆるサプライサイドから、顧客ニーズに合った商品をタイムリーに仕入れ、主に生花店や葬儀関連会社へ生花の販売をおこなっています。日々変化する、マーケットニーズに対応すべく、お客様により質の高い情報と商品をいち早くお届けする最適なシステムを追求するとともに、さらなる安定供給を目指しています。

■ 生花卸売事業の基盤となるビューティロジスティックシステム

流通システムをエンドユーザーの視点から見直し、仕入れ先にこだわらず売り手と買い手を直結する「ビューティロジスティックシステム」を構築しております。

■ 仕入れ支援サービス

品質・価格・時間のベストマッチングをプロデュース

■ 市場出荷前取引

市場に出荷する前の商品情報を入力し、お客様に配信

■ 法人向けサービス

ビジネスツールとしての生花・胡蝶蘭の販売



17.9%
792百万円



ブライダル装花事業

生花事業の豊富な経験を生かし、食卓の一輪の花から企業様向けのギフトフラワーまでフレッシュな花と緑をご提供している生花小売業と、ブライダルにおけるブーケや会場装飾、イベントでの生花ディスプレイなどを子会社の株式会社ワンフラワー(旧・株式会社クラウンガーデネックス)を通じ展開しています。



6.2%
275百万円

土木・建設事業

熊本市内及びその近郊にて国や地方自治体が発注するインフラ整備をはじめとする各種の一般土木建設、宅地造成工事等を行っています。



3.7%
163百万円
(2012年2月~4月)

Point.1

企業買収により、各事業のシナジー効果を狙う

- 2006年 美麗花壇股份有限公司(台湾)
- 2007年 株式会社クラウンガーデネックス(現・株式会社ワンフラワー)
- 2012年 昇建設株式会社、株式会社システムハウス福知山、株式会社ピンク

ビューティ花壇と5つの子会社でビューティ花壇グループを形成



昇建設株式会社

- 事業内容
土木工事、水道施設工事、舗装工事
- シナジー効果
株式会社ワンフラワーとの協力により、造園事業をさらに強化



株式会社ピンク

- 事業内容
 - ・スタッフ派遣(セレモニースタッフ、女性葬儀司会などの人材派遣)
 - ・就職支援(葬儀業界で働きたい方中心の就職支援)
 - ・研修・教育(葬祭ディレクター資格取得から接客マナー1級などの研修サービス)
 - ・その他(株主総会のスタッフ派遣や式典イベント進行などプロの人材サービス提供)
- シナジー効果
 - ・両社のスケールメリットを活かし、相互事業の拡大を目指す
 - ・ビューティ花壇の営業拠点(全国7ヶ所)と連携し、サービスエリアの拡大を目指す
 - ・採用、教育研修のノウハウを活用し、全社員の教育体制の再構築を目指す

株式会社システムハウス福知山

- 事業内容
 - ・住宅・建築業界と葬祭業界に専用特化した支援ソフトの開発と販売
 - ・設計CADソフト製品
 - ・毛筆名札書きソフト製品を中心とした企業向けソフトウェアの提供
- シナジー効果
 - ・両社のスケールメリットを活かし、相互事業の拡大
 - ・両社のビジネスモデルを融合したソリューションサービスの提供による顧客満足度の向上と相互事業の拡大
 - ・葬儀提案から見積り、受発注までのIT支援サービスの提供による、商流創造とビジネスモデルの革新



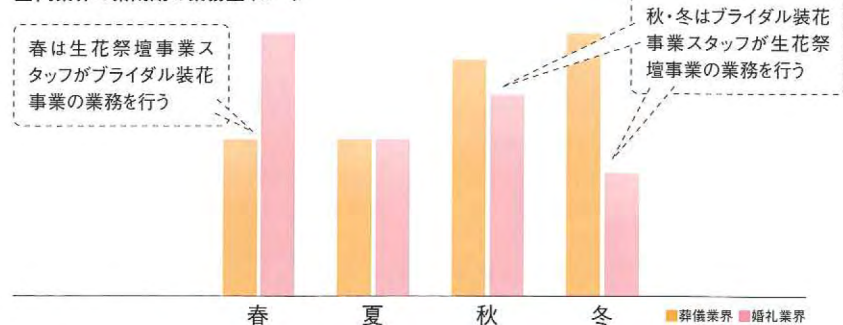
Point.2

子会社化の推進(業務統合による相乗効果)

熊本支店の生花祭壇事業を会社分割し、株式会社ワンフラワーに承継

生花祭壇事業とブライダル装花事業の業務統合による相乗効果を生む運用体制

■両業界の繁閑期の業務量イメージ



Point.3

本社移転

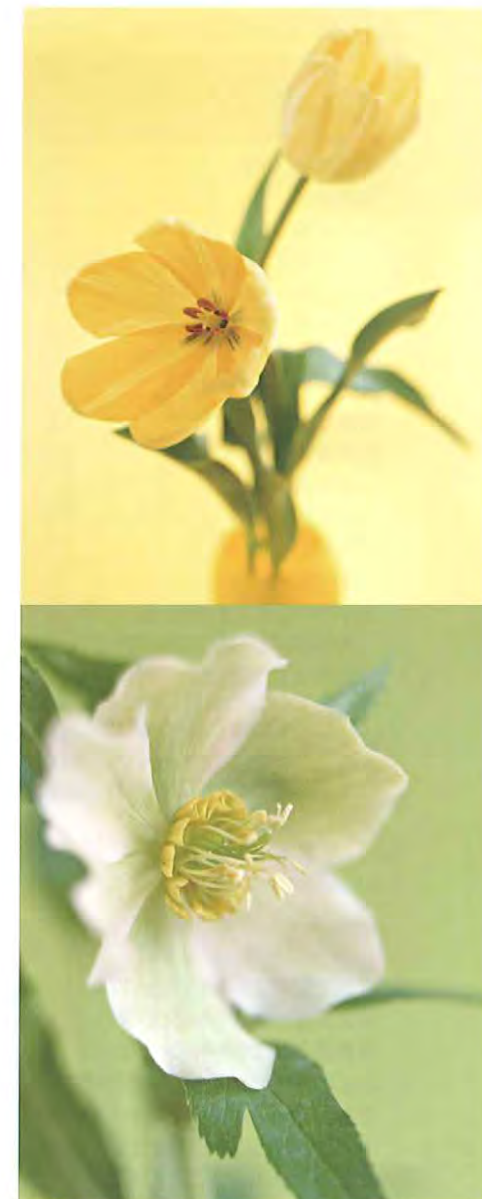
熊本地区で事業拡大及び関係会社間の更なる連携を図り、事業の集約化、費用の合理化及び業務効率の向上を図るため、本社機能を移転します。

■2012年7月1日より合同社屋での業務を稼働



■業務面・管理面・経費面でのシナジー効果を追求

2012年9月21日より、本社を熊本へ移転(熊本県熊本市南区流通団地1-46)



連結財務諸表

CONSOLIDATED FINANCIAL STATEMENTS

連結貸借対照表(要旨)

単位:百万円

	当期 (2012年6月30日現在)	前期 (2011年6月30日現在)
資産の部		
流動資産	1,209	1,035
固定資産	1,099	608
資産合計	2,309	1,644
負債の部		
流動負債	955	598
固定負債	715	481
負債合計	1,671	1,079
純資産の部		
株主資本	574	512
資本金	213	213
資本剰余金	133	133
利益剰余金	389	308
自己株式	△161	△142
その他の包括利益累計額	△6	△7
その他有価証券評価差額金	1	-
為替換算調整勘定	△8	△7
少数株主持分	70	59
純資産合計	637	565
負債純資産合計	2,309	1,644

※単位未満は切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

単位:百万円

	当期 (自2011年7月1日 至2012年6月30日)	前期 (自2010年7月1日 至2011年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	223	171
投資活動によるキャッシュ・フロー	△240	△115
財務活動によるキャッシュ・フロー	31	2
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	12	56
現金及び現金同等物の期首残高	515	458
現金及び現金同等物の期末残高	528	515

※単位未満は切り捨てて表示しております。

連結損益計算書及び連結包括利益計算書(要旨)

単位:百万円

(連結損益計算書)	当期 (自2011年7月1日 至2012年6月30日)	前期 (自2010年7月1日 至2011年6月30日)
売上高	4,436	4,122
売上原価	3,642	3,269
売上総利益	793	853
販売費及び一般管理費	639	670
営業利益	154	183
営業外収益	22	17
営業外費用	21	19
経常利益	155	181
特別利益	53	41
特別損失	16	16
税金等調整前当期純利益	191	207
法人税、住民税及び事業税	78	71
法人税等調整額	△10	△7
少数株主損益調整前当期純利益	124	143
少数株主利益	1	18
当期純利益	123	125

※単位未満は切り捨てて表示しております。

(連結包括利益計算書)

単位:百万円

	当期 (自2011年7月1日 至2012年6月30日)	前期 (自2010年7月1日 至2011年6月30日)
少数株主損益調整前当期純利益	124	143
その他の包括利益	0	△1
その他有価証券評価差額金	1	-
為替換算調整勘定	△0	△1
包括利益	125	142
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	124	124
少数株主に係る包括利益	0	17

※単位未満は切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書 当期(自2011年7月1日至2012年6月30日)

単位:百万円

	株主資本					その他の包括利益累計額			少数株主 持分	純資産 合計
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己 株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計		
2011年6月30日残高	213	133	308	△142	512	-	△7	△7	59	565
連結会計年度中の変動額										
新株の発行	-	-			-					-
剰余金の配当			△42		△42					△42
当期純利益			123		123					123
自己株式の取得				△18	△18					△18
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)						1	△0	0	10	10
連結会計年度中の変動額合計	-	-	80	△18	62	1	△0	0	10	72
2012年6月30日残高	213	133	389	△161	574	1	△8	△6	70	637

※単位未満は切り捨てて表示しております。

ポイント解説(連結貸借対照表)

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べ664百万円増加し、2,309百万円となりました。これは主に、建物及び構築物及び土地の増加によるものです。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ591百万円増加し、1,671百万円となりました。これは主に、1年内返済予定の長期借入金及び長期借入金の増加によるものです。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ72百万円増加し、637百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。

ポイント解説(連結損益計算書)

当連結会計年度の業績は、新規顧客の積極的な開拓と既存顧客内での当社への発注シェアアップによる売上拡大、徹底的な経費削減を推進した結果、売上高4,436百万円(前年同期比7.6%増)、営業利益154百万円(前年同期比15.8%減)、経常利益155百万円(前年同期比14.6%減)、また特別利益として負のれん発生益53百万円を計上した結果、当期純利益は123百万円(前年同期比1.5%減)となりました。

2012年6月期の配当について

2012年6月期の配当については、内部留保の充実、株主資本利益率ならびに今後の事業展開等を総合的に勘案し、下記のような剰余金処分が2012年9月21日開催の定時株主総会で承認されました。

普通株式1株につき 金1,775円
配当総額 37,067,325円

なお、剰余金の配当が効力を生じる日は2012年9月24日であります。

配当金推移



会社概要 (2012年9月21日現在)

COMPANY PROFILE

会社概要

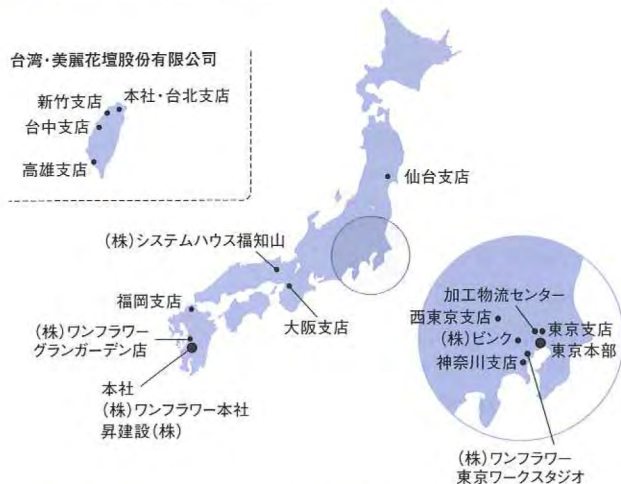
会社名	株式会社ビューティ花壇
本社所在地	〒862-0967 熊本県熊本市南区流通団地1-46 TEL:096-370-0004 FAX:096-370-0005
東京本部 (2012年10月1日から)	〒130-0026 東京都墨田区両国4-31-16 ひがしんみどりビル8階 TEL:03-5625-4344 FAX:03-5625-4345 (9月22日から9月30日の間は従来の本社で営業)
事業内容	生花祭壇の企画提案・製作・設営 及び生花の卸・物流
創業	1974年5月1日
設立	1997年1月16日
資本金 (2012年6月30日現在)	2億1,324万円
従業員数 (2012年6月30日現在)	170名(単体) 261名(連結)
連結子会社	株式会社ワンフラワー 美麗花壇股份有限公司(台湾) 昇建設株式会社 株式会社システムハウス福知山
非連結子会社	株式会社ピンク

役員

代表取締役社長	三島 美佐夫
常務取締役	舩田 正一
取締役	須浪 薫
取締役	青木 啓
取締役*	柳本 信一郎
常勤監査役*	亀井 浩太郎
常勤監査役*	竹内 尚
監査役*	西川 泰史

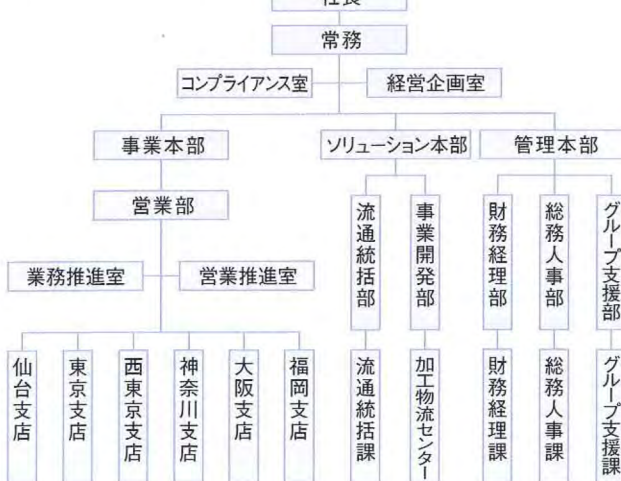
* (社外)

営業拠点地図



組織図

*9月1日より熊本支店を
会社分割し、事業を
(株)ワンフラワーに承継しました



株式の状況 (2012年6月30日現在)

STOCK INFORMATION

株式の状況

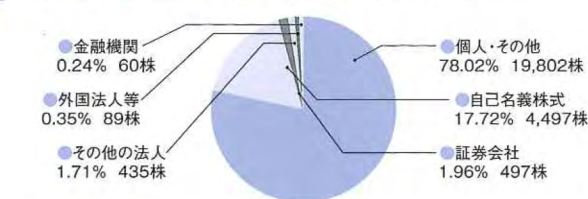
発行可能株式総数	88,000株
発行済株式の総数	25,380株
株主数	1,680名

大株主

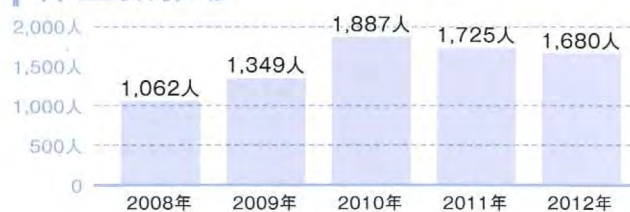
株主名	所有株数(株)	議決権比率(%)
三島 美佐夫	9,523	45.60
ビューティ花壇従業員持株会	946	4.53
三島 志子	600	2.87
清水 康	500	2.39
水野 裕是	360	1.72
株式会社河野メリクロン	344	1.64
河野 通郎	231	1.10
畑 美智子	210	1.00
岩下 貴宏	150	0.71
片山 稔	105	0.50

(注) 当社は自己株式4,497株を保有しておりますが、上記の株主から除いております。

株式分布状況 (所有者別分布状況)



株主数推移



株主メモ

事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月開催
基準日	定時株主総会 毎年6月30日 期末配当金 毎年6月30日 中間配当金 毎年12月31日 ※そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	0120-176-417

○インターネットホームページURL
<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

●株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会
は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社の口座を開設されて
いない株主様は、下記の【特別口座について】をご確認ください。

●特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されてい
なかった株主様には、三菱UFJ信託銀行株式会社に口座(特別口座とい
います。)を開設しております。上記株主名簿管理人とはご照会先および住所
変更等のお届出先が異なりますのでご注意ください。

●特別口座に関するご照会先

特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
郵便物送付先 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先 0120-232-711

公告の方法 下記当社ホームページに掲載して行います。ただし、
事故その他やむを得ない事由によって電子公告による
公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
○公告掲載URL
<http://beauty-kadan.com/ir/library.html>

上場証券取引所 東京証券取引所マザーズ市場
証券コード 3041



w w w . b e a u t y - k a d a n . c o m

当社のホームページでは、事業の紹介をはじめ、株主・投資家の皆様に向けた企業情報を積極的かつスピーディに発信しています。

**BEAUTY
KADAN**
株式会社ビューティ花壇

〒862-0967 熊本県熊本市南区湯涌団地1丁目46番地
TEL.096-370-0004 FAX.096-370-0005
<http://www.beauty-kadan.com>



この冊子は環境保全のためベジタブルインキとFSC認証紙を使用しています。

年次報告書「花風」の
ネーミングについて

社業の根幹をなす「花」と、メッセージという意味の「風」とともに、生花業界に新風を巻き起こすというチャレンジ精神を表現しています。